

笑う門には 福来る。

松山市勝山町1-18-10
(株)日本交通社
TEL(089)946-3911
発行人：中村剛志

大事事な事
真の人間になるうとするためには
着ることもより
履くことも方が大事だ
知ることもより
忘れることもの方が大事だ
取得することもより
捨離することもの方が大事だ

坂村真民記念館(砥部町)

明朗・愛和・喜働

物の命



秋刀魚、鮭、梨、松茸など、秋の味覚を樂しめる季節となりました。

食事の前、私たちは、意識することなく「いただきます」と口にしたり、心の中でつぶやいたりします。「いただきます」という言葉の由来には諸説ありますが、自然の恵みへの感謝であることは間違いないようです。

そして、この感謝の気持ちは、「すべての物に命が宿っている」とみる、日本人古来の考え方が背景にあるのでしょうか。

食べ物に限らず、私たちの生活は、物によって成り立っています。それらすべての物も、元をたどれば自然の恵みからできています。

物に命があるとみるか、単なる無機質な物とみるかは人それぞれです。ただ、命があるかのように大切に扱えば長持ちし、祖末に扱えば、すぐに壊れたり、役に立たなくなってしまうのが物の不思議です。

食前に「いただきます」と口にすると同様に、普段使っている物も、へよろしく頼むよ」という思いを持って扱いたいものです。

●自然の恵みに思いを向けましょう

「職場の教養」より

宇和ちゃんの啖呵山短歌

降りしきる蟬時雨のなか微かなる
かなかなを聞く確かな秋を

お約束のアンコールへのセレモニー
拍手に応え行ったり来たり

八木健さんの川柳アート



結女さんの松山ミクロン

完璧を
期する男や
愛の羽根

秋すさぶ
小指でたどる
口の縁



道しるべ

身体は、治る力を持っている
痛みやかゆみ、発熱は、身体が快復しようとする働き。
嫌がらなければさらに自然治癒力が高まる。